

企画展

記憶をつなぐ

— 津波災害と文化遺産 —

2013年1月30日(水)～3月15日(金)

国文学研究資料館 1階展示室

当館では、国立民族学博物館、国立歴史民俗博物館の研究者と連携して行ってきた東日本大震災被災地での文化遺産復興を通して得た経験を基に、人間文化研究機構連携展示企画展「記憶をつなぐー津波災害と文化遺産ー」を開催します。

人間文化研究機構連携展示 企画展「記憶をつなぐー津波災害と文化遺産ー」

主催：国文学研究資料館、国立民族学博物館、国立歴史民俗博物館

後援：国立文化財機構、文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本民具学会、日本民俗学会、追手門学院地域文化創造機構、財団法人千里文化財団

協力：産経新聞社、共同通信社

日程：平成25年1月30日(水)～3月15日(金) 開催時間：10時～16時30分※入場は16時まで

休室：日曜、月曜、祝日入場無料

主な展示品：復興のシンボル”釜石の虎舞”が立川に

○文化遺産の復興とその支援

・修復された十一面観音立像(岩手県釜石市・鶴住居 観音別当慈眼院蔵)

・鶴鳥神楽：恵比寿舞(岩手県下閉伊郡普代村)

・釜石虎舞(岩手県釜石市)

・仰山流笹崎鹿踊(岩手県大船渡市)

・被災した民俗資料(宮城県石巻市・鮎川取蔵庫)

●記憶の継承

・翻訳された「稲むらの火」(アジアの8ヵ国、9言語とフランス語)

●文書で継承された記憶(当館蔵資料)

・安政東海地震の記録(津波被害通知状) 嘉永7年

・明治三陸地震への支援の記録 海嘯被害義捐金募集広告「三陸地震」

・関東大震災の記録 関東大震災被災写真 大正12年

ギャラリートーク：

2月16日(土)、20日(水)、3月2日(土)、6日(水)

各日13時30分～14時30分

2013年3月8日(金)

13:00-16:00

災害連携研究報告会

当館大会議室

事前申込不要

○文化遺産のレスキュー

活動について報告します